

青島日本商業會議所 經濟週報

第百二一號

中華郵政特准掛號認爲新聞紙類 大正十四年九月廿八日發行 每週月曜日

一、週報 報每 號日本棉花株式會社 報第八五號長崎商業會議所

本號記事

- 隴海鐵路東路調查狀況(其十五)
- 大正十四年上半年青島貿易概況(其四)
- 埠頭業務概況(八月上旬)
- 青島穀物輸出狀況(八月中)
- 銀塊並爲替(自九月十四日至十九日)
- 商況(同)
- 日本向輸出貨物船積狀況
- 輸出落花生輸出者別統計(八月中)
- 膠濟鐵路三聯發着貨物統計(八月中)

資料

隴海鐵路東路調查狀況

查狀況 (其十五)

第二編 徐海線と青島との關係

第二章 隴海線と他鐵路との比較

第一節 京漢線北段との比較

今陝西、河南兩省附近に於て産する貨物を鐵路により海洋港に搬出せんとし、仮りに隴海線並に京漢線北段の終點たる天津に搬出せんものとし、その距離並に費用を算出せん

一、仮定
鄭州 便宜本地を集散地起點とす
落花生 便宜上落花生一屯の運賃に付きて計算す

二、距離	鄭州 北京	天津	五一四哩
同	鄭州 海州	海州	三四八哩

右記の如き條件により更に國有鐵路運賃率と對照する時天津着迄に大約十三弗を要するに反し海州(大浦)着迄に於て約十弗六七仙を要するものとす若し海州築港實現の曉に於ては約二元三十仙の大なる差額を以て外洋汽船に連絡し得るものにして天津の南進的勢力は遂に此地に於て阻止せられ只山西省市場に活躍し得るのみ、然れども今海州の築港完成容易ならず之を更に青島港に搬出「トランシツプ」するものと仮定せんか

鄭州 海州間	十元六七仙
海州 青島間	二元七五仙

積換諸掛(最低)

八四仙
十四元二六仙
即ち屯當り約一元卅仙の高價となるべきも之は海州、青島間の汽船運賃及諸掛の高價なるもその原因たるに依り該運賃並に積換諸掛を低廉ならしめば又幾分天津迄の運賃に歩みより得るものとす、然れ共之を以て海州並に青島は天津と山西省市場に角逐するの餘猶に乏しく只徐州に集散する貨物の吸収のみに終るべく海州の築港は徐海線に對する一大必要條件なり

第一節 京漢線南段との比較

更に京漢線南段終點たる漢口と海州港との比較を試みん

一、仮定
鄭州 當地を集散地起點とせん
落花生 又本品一屯の運賃に付きて比較す

二、距離	鄭州 漢口	三三二哩
同	鄭州 海州	三四八哩

左記の如き條件に依り比較する事前節の如くにして鄭州、漢口間は十弗十二仙にして海州迄の十弗六七仙に比較し殆んど大差なきも漢口に移出されたる貨物は更に上海に至る間の汽船運賃等を加算するるとき又漢口、鄭州間は又鄭州、海州間を一籌を輸するの地位にあり更に道口清化市場に對する海州の地位は漢口の優位を廢する事數段と言ふ可く漢口の北進的勢力は又一打撃を蒙るべきは明なり

第二節 津浦線南段との比較

次で津浦線南段終點たる浦口と海州との比較を示さん今浦口に來れる貨物は更に南京、上海に鐵路運輸するの必要あるものとして左に比較せん

一、仮定
徐州 便宜上當地を集散地起點とせん
落花生 便宜上落花生一屯當り運賃に付比較す

二、距離	徐州、浦口、南京、上海	六一六哩
同	海州	一三六哩

前節と同一貨率に依り徐州より上海迄の

運賃は十一弗三十仙にして徐州、海州間は五弗十仙と言ふ大なる差額を存し海州より更に貨物を青島港迄に搬出「トランシツプ」するも尙海州の方有利なるは明にして彼の河南に於ける生實、羊毛、山西の棉花に絶大の勢力を有する上海取引は又一頓坐を來す可し又仮りに浦口に依り直ちに外洋に連絡するとして計算せんか

徐州 浦口	二二一哩
同 海州	一三六哩

にして前者は七弗卅八仙を後者五弗十仙を要し兩者間又相當の開きあるものとす更に之を現在のまゝに於ける青島、天津と海州との比較は殆んど必要な迄に前者不利の立場にあるものとす

第三章 道濟鐵路と青島港の不利

今道濟間延長線完成し濟南、道口を経て京漢線に移り更に鄭州に至るを得んか天津、濟南、道口、鄭州 四八七哩 海州、鄭州 三四八哩

之を前述鄭州、北京、天津に比較する時は鄭州、天津間の距離は著しく短縮せらるるに至る可く若し果して本延長線にして完成せんか海州港は築港なき限り山西、河南西部等に於て天津と争ふの餘地なかるべく只天津搬出貨物は京漢、道濟、津浦と三鐵路を経由するの手續を要するに反し海州港搬出には只隴海線一線のみにより搬出し得るの特長あるのみ

翻つて鄭州、青島間を見るに延長線道濟鐵路完成すと雖その距離五一二哩を有し之を天津に比較するに尙は約一五哩の長距離にして本延長線の完成はその大局より見ればいざ知らず只天津、青島間の問題として論ずるに於ては徒らに天津の南進的勢力を増大せしめ青島の西漸勢力に一大障害を蒙らしむるものと言ふ可く青島人士の賛成す可からざる所ならん

更に青島、濟南、鄭州間は之を鄭州、海州間に較ぶる時殆んど同日の論に非ず只若し海州築港未成なる時は徐州集散の貨物は更に海州に集散して青島を中繼とすべしもの多からんもその鄭州集散の大量貨物は之を全部青島に吸収するは不可能なり而も現在徐々に具体化しつつある道濟線完成の曉青島は天津にその繁榮を奪は

發行所 青島日本商業會議所

第四章 高徐線と青島の海州對策

第一節 高徐線

高密、徐州間鐵路即ち高徐線の布設は古くより計劃せられたる事は世人周知の事實なり今本道にして完成せるものとせんか徐州に集散する貨物は悉く海州に行くか然らずんば本鐵路によりて青島に出廻るものとなるべし、何となればその南方なる浦口に行くものを見るに浦口の碼頭設備未だ充分と稱するを得ず之を水路上海の中繼に待つか或は陸路南京より鐵路運輸により上海に至るかの何れにせよ一度び上海の地に至るを要するものにしてその距離の長き事徐海線一三六哩徐青線約三〇〇哩の比に非ず然らば浦口行きを中止せる貨物は果して全部高徐線に吸収するを得べきかを見るに若し海州築港完成前に於てはその貨物は總て高徐線によりて青島に來るべく若し又築港完成後とせんか徐州集散の貨物は勿論山東南部に於ける高徐線貨物すら海州に吸収され高徐線の海州に對するや彼の天津に對する道濟鐵路の如き役を演ずるに至らん併し更に一步を進めて鄭州を起點とし漢口、天津、青島、浦口、海州を比較せんか

鄭州、北京、天津	五一四哩
鄭州、徐州、高密、青島	五一二哩
鄭州、徐州、浦口	四二三哩
鄭州、漢口	三一九哩
同 海州	三四八哩

と言ふ數字を見出し得べし右數字より見る時は鄭州、漢口を以て最も有利の如く思考するも彼の隴海、津浦兩鐵路の聯運輸契約實現後は徐州に於ける貨物堆積の憂ひ全く除去されたる爲め山西棉の上海輸送経路は從來鄭州、漢口、上海、なりしもの殆んど全部徐州、浦口、上海経路を撰ぶに到りし過去の事實は明に這般の事情を説明するものと云ふべし己に漢口より一〇四哩の長距離なる浦口を撰ぶ貨物は高徐線完成の曉に於て天津よりも二哩短く且つ天津の如く冬季船舶出入困難を感ずる事なき青島港が天津を排して浦口と競争の地位に立つに至る可きも彼の浦口に出でし貨物は水陸何れにかより更

に上海迄約二百哩間を搬出するの必要あり、高徐線に據らんか一路直ちに青島に搬出し得るものにして浦口は遂に又青島の敵に非ざるを知るべく論じ來る時は究竟の競争は築港完成後の海州對高徐線完成を前提とする青島港との二港なり

第二節 青島の對海州策

前節並に前各章に於て述べし所は只各地間の距離並に鐵道運賃のみにして支那に於て最も重要な干係を有する商習慣を考慮せざりしものなり、蓋し支那に於ける商習慣は舊慣墨守の風殊に強きものありを思ふ時、更に從來徐州集散貨物の大半は上海、浦口との取引に又鄭州集散貨物の大半は漢口との取引に待つ所大なるものあるを考ふる時、更に上海、漢口等長江沿岸は英國の在支商業的發展の策源地にして殊に上海は在支最大の對歐米貿易港たるを知る時吾人は今徐海線の完成のみにより或は一步を進めて海州築港のみにより直ちに上海、漢口の勢力を凌駕せんとするは困難ならんも、然し相當年月後には必ずや之を凌駕し得べしと信ず然れ共一方青島の對内外干係を見るに當地開港以來僅かに二十五年にして山東省物産の買付並に山東省内への諸物貨輸入の外他省との物貨取引に於て殊に深き干係を有するもの多からず、要するにその取引干係は内外共に未だ根底淺きものなり、彼の隴海線にして海州の築港を完成せんか青島は一蹴にして壓倒せらるべく又その築港完成せず高徐線も布設せられざるものとせんか徐海線は單に沿線地方の物資を吸収し得るに止り且つその物資たるや悉く青島に招來するは困難にしてその過半は南方江蘇諸口を取引に歸すべし然れ共段執政となれる今日裁兵化工の輿論漸次増大しつゝあり而も之等夥しき不生産的兵士をして生産的鐵道建設工に化せんとする裁兵化工論は舊交通係に屬し外資による鐵道統一案の支持者たる現交通總長葉恭綽氏により段執政に提案しその提案中には隴海線の伊梨延長案をも含むものにして四國借款團の規約存するとは雖今後各列國間に激烈なる借款競争行はる可く豫想せられ且つ米國財團の支那鐵路に着目し運動を開始せんとするに至りし今日海州築港も只空説とのみ閑看しがたきものあらん即ち徐海線完成の今

日吾が青島の對海州策確立の急務なる所なり、即ち筆者が實地見聞せる所に更に從來の材料を綜合し最も必要と感じた對策の二三を記述して本報告を終り併せて江湖の批判を待たん

對策一、道濟線に先んじて高徐線を速成する事

即ち道濟線は其の形に於て隴海線と複線の如き干係をなし貨物の移出入上吾が青島に多大の利益あるが如く思考するも前述の如く本線布設により鄭州に至る距離の短縮をなし得る天津は必ずや吾が青島の一大強敵として現るべく濟南を仲繼市場として同一國有鐵道運賃に支配されんとする膠濟、津濟兩鐵路は距離の點より論じて青島の不利を明に説明するものならん、於此乎天津の鄭州に對する距離は依然五、四哩を保たしめ只青鄭間のみを短縮し且つ青島に獨占的利益を得せしむ可き高徐線の速成は支那中原の寶庫を開き天津と對抗し得るのみならず又海州に對する策の最上なるものなり、但しその速成たるや海州築港前に於てなざる必要あることは既述の如し、即ち本線に於て速成せられんか濟南經由の貨物及び膠濟沿線取引貨物の吞吐港たりし青島は更に徐州、鄭州の貨物をも集散し次で又徐海線の物貨をも徐々に吸収し得るものにして徐州は青島に對し第二の濟南となし得べし

の海州集散の貨物は激増し海州の繁榮を來すと同時に青島港の盛大を見る可く即ち兩者共存の幸福を求むるに難からずして巨費を要する海州築港説の主張も緩和するを得ん、於此從來青島、海州間航路就航船の成績を見るに錦屏公司所産燐礦石運送用のため航路を離れ營利的に就航せるものとしては大連汽船會社青島支店及び魯昌洋行滙源公司の三ありしものにして現在尙ほ之を繼續せるは魯昌、滙源の二者にして兩者又航路上些したる利益を得ざる現況にあり彼の大連汽船の如きは單に營利的目的のみならず國家的見地よりして本航路就航を決心當局又多少の補助便宜を與へたるも尙ほその損失を補ふに足らず大正五年より同十一年に至りたる歴史ある本事業を廢止し徒らに魯、滙兩行等獨支人の獨占に歸せしは誠に惜むべき事なり、今大連汽船會社が損失に堪得ざりし原因を見るに

對策二、青海航路の補助擴張

最小延長一千餘哩の大幹線たらしむ可き隴海鐵路の最も焦慮し苦心するは實にその吞吐港設備の完否にして此は又實に該鐵路の生命を制するものたるを同時に又吾が青島港の盛衰を卜する一大原因なり、然れ共目下その資金難に苦しむ當局の意見は先づ臨河河深の姑息的手段に出でんとする大勢にありて實に吾が青島の乗すべき好機會なり、地の好機會に於て青島のなす可き方法は前述の高徐線速成を除きては實に青海航路の擴張の一ありのみ、蓋し本航路にして擴張せられれば來の船舶運賃に比しより以上の廉價を以て貨物の輸送をなし得且つその連絡線往復の敷可及的に増大し海州集散の貨物を青島に「トランシップメント」するも尙ほ天津、鄭州、漢口、浦口に廻送するに要す諸掛に比し低廉便利なるに至らんかそ

す可く常駐調査員の如き者を派遣するも又良策なり。(完)

大正十四年上半年 青島貿易概況 (其四) 輸出品

○落花生粕 本品輸出は近年に至り漸く日本市場に其價值を認められたるものにして賣行も亦相當の數量に上りたるか大正十一年末峰村榨油工場建設と共に青島の落花生榨油工場は二工場となり其副産物たる粕の產出量を増加してより益々其販路を擴張し來るたるか產出工場との關係上青島輸出の花生粕は日本を第一とし大正十三年上半年に於て日本六万七千四百六十五担の輸出を爲したる外に支那舊式榨油業者の手によりて搾出されたる土産粕と亦尠なかりざる數量に達し支那各港向二万七千一百一十一担上海二百二十二担に達し合計八万七千七百六十一担の輸出を示したるか本年上半年は更に好況を示し日本は九万八千四百八十七担其他外國各港に向つて六千三百六十担の輸出を爲せし爲め土産粕は幾分抑制せられたるもの如く上半年に於て支那各港へ二千二百四十九担の輸出を見たるに過ぎず頗る不況に推移せるか日本及外國の需要旺盛は當港輸出粕の上にて幾分増加を現はし上半年に於て十萬七千九百六十六担の輸出を見たり

を見たるか最近に至り青島紡績の發達と共に之が副産物たる落棉の產出夥しく之等は再紡すれば立派なる蒲團棉として使用せらるる爲め當港棉花輸出は著しく増加し本年上半年に於て日本は二萬九千四百七十九担上海は二萬七千七百四十担大連三千六百八十二担其他十九担を併せて合計六萬九百二十担の輸出を遂げ前年上半期の輸出に三倍するの盛況を示せり此趨勢は爾來益々増大するに至るべし

○干 薯

干薯の當港輸出は單に日本方面にのみ需要せらるるものにして用途は燒酎製造原料たるに過ぎず其需要範圍最と狭少なる爲め其輸出品は一に日本の需要如何に支配せらるるものなるか本品は支那下級農民の食料たるものにして其産額の大部を賣却し一部を乾燥し貯藏せるもの、内を買付くるに過ぎず故に其年の豊凶により産額相場の異動ある事を免かるべからず之を統計上より見る時は昨年上半年に於て三萬五千四百七十七担の輸出を算せしも本年は凶作の爲め目前の食糧窮乏に懸念し一般に賣惜みたる爲め上半年中僅かに五百七十七担の輸出を見たるに過ぎず全然其聲を潜めたり

○桐 材

(九太)九太も亦山東の特産物として其名を馳せ一時年領三十八萬兩の輸出を爲せし事ありたるも日本需要も一段落の姿となり遂年不況を辿り大正十三年は二十萬六千兩に減退し其上半期に於て十萬四千餘兩の輸出を算せしか本年上半期の輸出額を見るに大連は稍活況を呈し九百十兩に上り新たに上海を加へて九百二十兩を増加したるも從來の重要消化地たる日本の需要激減せる事情は本品輸出に大なる影響を與へたるものにして本年全期に於て七萬七千七百三十三兩を輸出せるに過ぎず昨年上半年に比すれば約三萬兩の減退を示すに至れり

○桐 材 (下駄材)

本品は當港輸出品中の重要貨物にして牛肉鶏卵と共に其名を並へ居るものなるか其輸出額は一時八十二萬兩に上り頗る前途の有望なるを想はしめしか年々減退の歩調を改めず十三萬兩に於て四十萬四千九百九十五兩に衰退し本年上半期に於て更に著しく不況を著しし二十一萬九千八百一十一兩と悲惨なる記録を止めたり其主國は内地市場の不

○棉 花

當港より輸出せらるる棉花は山東奧地の產棉中より紡績用優良棉を除きたる劣等品にして蒲團棉として日本朝鮮上海等に輸出せらるるもの多く昨年上半年に於て二萬四千六百七十七担の輸入

經濟週報第百二一號附錄

(大正十四年八月中)

鐵路貨物三驛到着表

一 車 扱 (單位噸以下三位迄)									小 口 扱 (單位斤)								
品 名	青 島		大 港		埠 頭		合 計		品 名	青 島		大 港		埠 頭		合 計	
	公 衆	政 府	公 衆	政 府	公 衆	政 府	公 衆	政 府		公 衆	政 府	公 衆	政 府	公 衆	政 府	公 衆	政 府
煤	5,635.000	2,370.000	915.000	—	63,510.000	—	70,060.000	2,370.000	煤	93	—	950	—	15	—	1,058	—
焦炭	245.000	—	30.000	—	3,045.000	—	3,320.000	—	炭料土	40	—	—	—	—	—	40	—
石灰	252.000	—	12.000	—	—	—	264.000	—	耐火	152	—	—	—	—	—	152	—
石白及石	—	—	—	30.000	—	—	—	30.000	鐵	—	—	90	—	—	—	90	—
石及石	—	—	—	—	6.000	—	6.000	—	粘	—	—	—	190	—	190	—	
泥	—	—	15.000	—	—	—	15.000	—	土	—	—	—	—	—	—	—	—
耐火	—	—	39.000	—	375.000	—	414.000	—	板及鐵	839	5	—	—	—	839	5	
鐵板及鐵	—	31.000	7.000	—	—	4.000	7.000	31.000	銅	746	—	250	—	—	996	—	
銅及銅	—	—	30.000	—	—	—	30.000	—	及銅	130	—	—	—	—	130	—	
高小	108.025	—	—	—	—	—	108.025	—	米	199	—	—	—	—	199	—	
麵粉	45.000	—	678.000	—	—	—	723.000	—	麵	7.155	—	820	—	—	7.975	—	
麵粉	6.000	—	—	—	—	—	6.000	—	瓜及他	—	—	—	—	—	—	—	
麵粉	75.000	—	30.000	—	—	—	105.000	—	茶	596	—	—	—	—	596	—	
落瓜煙藥	224.120	—	548.000	—	—	—	772.120	—	粉	110	—	—	—	—	110	—	
及瓜	549.505	—	85.000	—	—	—	634.505	—	子實	—	—	820	—	—	820	—	
藥材及藥	—	—	1,175.000	—	42.000	—	1,217.000	—	菜葉	1.146	—	—	—	—	1.146	—	
棉織	31.390	—	—	—	7.000	—	31.390	—	茶	5.877	—	—	—	—	5.877	—	
絲織	9.680	—	171.000	—	—	—	187.680	—	煙	3.084	—	—	—	—	3.084	—	
麻袋	12.240	—	503.000	—	—	—	515.240	—	藥	20.951	—	2.177	—	—	23.128	—	
花紗	10.000	—	753.000	—	42.000	—	805.000	—	材及藥	80	—	360	—	—	440	—	
織疋布	14.132	—	—	—	198.000	—	198.000	—	頭	77	—	—	—	—	77	—	
頭袋	69.000	—	—	—	—	—	69.000	—	棉	16.861	—	—	—	—	16.861	—	
木料	247.984	401.000	734.000	—	6.000	—	981.984	407.000	織疋	—	—	—	—	—	—	—	
桐草	30.000	—	67.000	—	—	—	97.000	—	頭	234	—	—	—	—	234	—	
草帽	20.000	—	—	—	—	—	20.000	—	布	7	—	—	—	—	7	—	
草蓆	52.000	—	—	—	—	—	52.000	—	袋	632	—	—	—	—	632	—	
磁器及瓦	162.000	—	—	—	—	—	162.000	—	木	10.211	—	—	—	—	10.211	300	
磁器及瓦	43.550	—	—	—	—	—	43.550	—	竹	—	—	—	—	—	—	—	
磁器及瓦	15.000	—	—	—	—	—	15.000	—	及竹	70	—	—	—	—	70	—	
磁器及瓦	324.083	—	—	—	—	—	324.083	—	草帽	8.056	—	—	—	—	8.056	—	
磁器及瓦	466.690	—	47.000	—	—	—	513.690	—	草蓆	204	—	—	—	—	204	—	
煤牛傢	10.000	53.000	34.000	—	—	—	44.000	53.000	磁器及瓦	543	2,110	—	—	—	543	2,110	
傢火	11.000	—	—	—	10.000	—	21.000	—	紙	1.946	—	—	—	—	1.946	—	
火	—	15.000	—	—	—	—	—	15.000	中	—	—	—	—	—	—	—	
雜	296.030	19.000	85.000	—	7.000	—	388.030	19.000	食	67	—	—	—	—	67	—	
蛋	—	—	6.000	—	—	—	6.000	—	料	1.727	—	—	—	—	1.727	—	
毛	39.000	—	12.000	—	19.000	—	51.000	—	及	957	—	—	—	—	957	—	
骨	37.000	—	—	—	—	—	37.000	—	食	63	—	—	—	—	63	—	
肉	1.934頭	—	—	—	—	—	1.934頭	—	油	527	—	—	—	—	527	—	
羊	—	—	—	—	—	—	—	—	油	—	—	—	—	—	—	—	
及山	96頭	—	—	—	—	—	96頭	—	自	13	—	—	—	—	13	—	
羊	—	—	69.000	—	—	—	69.000	—	料	2,200	—	—	—	—	2,200	—	
雜其	—	—	35.000	—	—	—	35.000	—	飾	325	—	350	—	—	675	—	
紅	—	—	—	—	63.000	—	63.000	—	具	529	—	—	—	—	529	—	
計	9,055.999	2,889.000	6,140.000	30.000	69,121.000	10.000	84,316.999	2,929.000	帶	108	—	—	—	—	108	—	
計	2,030頭	—	—	—	—	—	2,030頭	—	各	457	—	50	—	—	507	—	
計	—	—	—	—	—	—	—	—	種	1.972	—	250	—	—	2,222	—	
計	—	—	—	—	—	—	—	—	國	255	—	—	—	—	255	—	
計	—	—	—	—	—	—	—	—	車	3.797	—	—	—	—	3,797	—	
計	—	—	—	—	—	—	—	—	輻	11.730	150	1,855	—	—	13,585	150	
計	—	—	—	—	—	—	—	—	紙	—	—	—	—	—	—	—	
計	—	—	—	—	—	—	—	—	紙	1.671	—	1,720	—	—	3,391	—	
計	—	—	—	—	—	—	—	—	皮	1.958	—	—	—	—	1,958	—	
計	—	—	—	—	—	—	—	—	肉	7.400	—	—	—	—	7,400	—	
計	—	—	—	—	—	—	—	—	油	162	—	—	—	—	162	—	
計	—	—	—	—	—	—	—	—	他	149	—	—	—	—	149	—	
計	—	—	—	—	—	—	—	—	桶	28	4,120	1,330	—	—	1,330	4,120	
計	—	—	—	—	—	—	—	—	計	116.134	6.385	11.022	—	205.300	127.361	6.685	